

---

## 本年度の委員会の事業等について協議

～県老連女性委員会・若手委員会を開催しました～

---

### <女性委員会>

6月12日（木）県立総合福祉センターにおいて、本年度の県老連女性委員会を開催、各市町村の女性代表者18名が参加しました。

はじめに、吉尾女性委員長から5月21日に東京都で行われた「全国女性代表者会議」の概要について報告があり、特に増え続ける高齢者の消費者被害に対し、老人クラブとしても被害防止に向け、注意喚起をお願いしたいとのことでした。



続いて本年度の女性リーダー研修会の実施内容の検討に入り、前半は患者数も増加傾向にある「認知症」について学ぶこと、後半は「歌を歌う」ことをテーマとした内容で実施することになりました（開催時期は11～12月頃）。

また、老人クラブ会員増強運動では、会員の7割を占める女性会員の加入が大きい、女性ならではの視点や特性を生かして、加入促進が図れるよう協力を依頼しました。

### <若手委員会>

6月17日（火）同じく県立総合福祉センターにおいて、若手委員会を開催、各市町村の若手代表者17名が参加しました。

会議は昨年度からの継続協議となっていた若手委員会の独自事業について、その実施内容を検討、結果「ニュースポーツ」をテーマとして講習・大会形式で行い、競技は中央については囲碁ボールを、西部はパークゴルフを、南部はグラウンドゴルフを実施することになりました（実施時期は2月下旬から3月上旬にかけて予定）。



また、老人クラブ会員増強運動については、同年代による呼びかけが有効であることを説明、その他委員からは、若い世代の方は趣味的なものへの関心は高いが、お世話をするといいことには興味が少ないようである。老人クラブの活動がいかに地域貢献になっているかをアピールする必要がある。シルバー大卒生が老人クラブに加入しないことに対する懸念など、意見が出されました。